



## 平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年7月31日

上場会社名 ハリマ化成グループ株式会社  
 コード番号 4410 URL <http://www.harima.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務  
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月7日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 長谷川 吉弘  
 (氏名) 金城 照夫  
 TEL 06-6201-2461

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	19,432	12.6	1,008	14.2	965	20.3	1,690	171.9
30年3月期第1四半期	17,261	△5.6	883	△3.6	802	31.7	621	77.7

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 856百万円 (55.9%) 30年3月期第1四半期 549百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	64.95	—
30年3月期第1四半期	23.96	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	68,953	36,537	49.6
30年3月期	69,637	36,097	48.4

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 34,215百万円 30年3月期 33,723百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	11.00	—	12.00	23.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	12.00	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	39,500	12.8	2,100	17.2	2,100	17.2	1,400	9.0	53.79
通期	80,000	9.1	4,500	12.2	4,500	12.3	2,950	8.2	113.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	26,080,396 株	30年3月期	26,080,396 株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	55,600 株	30年3月期	55,330 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	26,024,998 株	30年3月期1Q	25,948,347 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
参考資料 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国の景気は回復が続き、欧州の景気は緩やかに回復しました。中国の景気は、持ち直しの動きがみられました。

一方、日本経済は、雇用、企業収益が改善し、設備投資も緩やかに増加しました。

このような中、当社グループは2017年3月期よりスタートしました、3ヵ年の中期経営計画『NEW HARIMA 2018』の最終年に入り、更なる事業の成長に取り組んでいます。

当社グループの海外事業は、ローター社が主力市場とする欧州を中心に販売数量の増加があり、売上高は前年同四半期に比べ増加しました。利益面では、競合他社との販売競争による粗利率の低下などにより、前年同四半期に比べ減少しました。

国内事業は、売上高は前年同四半期に比べ増加し、利益面も前年同四半期に比べ増加しました。

その結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は194億3千2百万円となり、前年同四半期に比べ21億7千万円(12.6%)の増収となりました。

利益面では、営業利益は10億8百万円となり、前年同四半期に比べ1億2千5百万円(14.2%)の増益となりました。経常利益は9億6千5百万円となり、前年同四半期に比べ1億6千2百万円(20.3%)の増益となりました。

また、連結子会社の繰延税金資産の追加計上に伴い、法人税等調整額(△は益)を△14億3百万円計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億9千万円となり、前年同四半期に比べ10億6千8百万円(171.9%)の増益となりました。

当社グループの部門別経営成績の概況は次の通りであります。

#### ① 樹脂化成品

印刷インキの生産量は前年同四半期に比べ減少し、塗料の生産量は前年同四半期並みとなりました。

当部門の印刷インキ用樹脂は、新規商品の採用等がありました。また、塗料用樹脂は、建築・外装用塗料向けが堅調に推移したことから、印刷インキ用樹脂、塗料用樹脂ともに前年同四半期に比べ売上高は増加しました。

その結果、当部門の売上高は、51億1千1百万円となり、前年同四半期に比べ5億9百万円(11.1%)の増収となりました。営業利益は2億1千8百万円と前年同四半期に比べ6千5百万円(42.8%)の増益となりました。

#### ② 製紙用薬品

国内の製紙業界は、板紙の需要は増加したものの、印刷情報用紙の需要が低迷し、紙・板紙生産量は減少しました。中国および米国の紙・板紙生産量も減少しました。

当部門の売上高は米国は減少したものの、中国は引き続き好調で、国内は堅調に推移したため、前年同四半期に比べ増加しました。

その結果、当部門の売上高は、45億4千1百万円となり、前年同四半期に比べ6億6千2百万円(17.1%)の増収となりました。営業利益は、4億5千2百万円と前年同四半期に比べ1億9千8百万円(77.9%)の増益となりました。

#### ③ 電子材料

当部門が主に関連する自動車業界の生産台数は、前年同四半期に比べて中国では増加したものの、国内は横ばい、北米と欧州では減少しました。

当部門の売上高は、溶ダペースト、自動車熱交換器用のろう付け材料などの販売が増加し、前年同四半期に比べ増加しました。

その結果、当部門の売上高は、13億7千5百万円となり、前年同四半期に比べ7千8百万円(6.0%)の増収となりました。営業利益は1億3千万円と前年同四半期に比べ7千万円(117.9%)の増益となりました。

④ローター

出版印刷インキ用樹脂は、情報のデジタル化を背景に需要が低迷しているものの、欧州は競合品からの置き換えが堅調であったことから販売数量は前年同四半期に比べ増加しました。

粘接着剤用樹脂は、北米、南米での販売が堅調に推移したことから販売数量は前年同四半期に比べ増加しました。また、販売単価の上昇により、当部門の売上高は、前年同四半期に比べ増加しました。

その結果、当部門の売上高は79億6千8百万円で、前年同四半期に比べ9億3千3百万円（13.3%）の増収となりました。

利益面では、一部販売単価は上昇したものの、全体としては競合他社との価格競争による粗利率の低下、販売費及び一般管理費の増加に伴い、当部門の営業利益は2億8千6百万円と前年同四半期に比べ1億8千4百万円（△39.2%）の減益となりました。

(2)財政状態に関する説明

当連結会計期間末の総資産は前期末に比べ6億8千3百万円の減少となりました。自己資本比率は49.6%となりました。増減の主なもの、流動資産では現金及び預金が2億6千7百万円減少し、原材料及び貯蔵品が1億5千8百万円減少しました。負債では短期借入金が3億3百万円減少し、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）は返済及び為替の影響により2億8千6百万円減少しました。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、緩やかながらも回復すると見込まれますが、米中貿易戦争や米国の輸入車関税引き上げ、中国を始めとするアジア新興国等の経済の先行き、金融資本市場の変動の影響など、先行きが不透明な状況が続いています。

日本経済においては、所得や雇用の改善により緩やかな回復が続くものの、当社グループにおきましては、為替変動などによる不透明な事業環境が続くことが見込まれます。

このような環境下、当社グループは、2018年度は、『NEW HARIMA 2018』の最終年度として、グローバルに展開する拠点網を活かした新製品の展開加速、事業規模の拡大と新技術の獲得を目指したM&A、品質面及び価格面での競争力向上などに取り組みます。

なお、当期（2018年4月1日から2019年3月31日）の通期の業績予想につきましては、2018年5月1日の決算発表時の公表数字を修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,711,320	3,443,924
受取手形及び売掛金	20,254,480	20,498,875
商品及び製品	5,756,636	5,465,589
原材料及び貯蔵品	5,784,556	5,625,691
その他	2,130,419	2,238,591
貸倒引当金	△121,763	△116,934
流動資産合計	37,515,649	37,155,738
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,851,231	8,526,518
その他(純額)	13,216,843	12,887,148
有形固定資産合計	22,068,075	21,413,666
無形固定資産		
その他	942,055	845,827
無形固定資産合計	942,055	845,827
投資その他の資産		
投資有価証券	7,720,869	7,372,440
その他	1,394,095	2,169,285
貸倒引当金	△3,060	△3,060
投資その他の資産合計	9,111,905	9,538,665
固定資産合計	32,122,036	31,798,160
資産合計	69,637,686	68,953,898

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,833,453	8,714,828
短期借入金	10,815,898	10,511,959
1年内返済予定の長期借入金	2,711,266	3,187,868
未払法人税等	428,092	314,572
役員賞与引当金	71,810	93,410
その他	3,376,412	3,788,060
流動負債合計	26,236,933	26,610,699
固定負債		
長期借入金	2,357,665	1,594,711
長期預り保証金	736,381	724,681
役員退職慰労引当金	404,507	427,537
退職給付に係る負債	1,004,294	939,645
資産除去債務	48,636	48,723
その他	2,751,450	2,070,294
固定負債合計	7,302,935	5,805,593
負債合計	33,539,869	32,416,293
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,012,951	10,012,951
資本剰余金	9,767,449	9,767,440
利益剰余金	13,573,352	14,951,432
自己株式	△26,314	△26,556
株主資本合計	33,327,438	34,705,267
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,679,256	1,516,180
為替換算調整勘定	△1,109,705	△1,838,117
退職給付に係る調整累計額	△173,953	△167,334
その他の包括利益累計額合計	395,597	△489,271
非支配株主持分	2,374,780	2,321,609
純資産合計	36,097,816	36,537,605
負債純資産合計	69,637,686	68,953,898

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月 1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月 1日 至 2018年6月30日)
売上高	17,261,974	19,432,261
売上原価	13,132,691	14,868,925
売上総利益	4,129,283	4,563,335
販売費及び一般管理費	3,245,950	3,554,799
営業利益	883,332	1,008,535
営業外収益		
受取利息	8,428	10,525
受取配当金	37,929	41,424
不動産賃貸料	28,735	28,579
その他	72,272	28,202
営業外収益合計	147,365	108,732
営業外費用		
支払利息	71,220	61,728
為替差損	117,831	45,832
その他	39,001	44,086
営業外費用合計	228,053	151,647
経常利益	802,644	965,620
特別損失		
減損損失	—	259,000
特別損失合計	—	259,000
税金等調整前四半期純利益	802,644	706,620
法人税、住民税及び事業税	210,620	320,327
法人税等調整額	△55,312	△1,403,471
法人税等合計	155,308	△1,083,143
四半期純利益	647,336	1,789,764
非支配株主に帰属する四半期純利益	25,694	99,384
親会社株主に帰属する四半期純利益	621,641	1,690,380



四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月 1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月 1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	647,336	1,789,764
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	234,019	△163,079
為替換算調整勘定	△338,836	△777,326
退職給付に係る調整額	6,590	6,791
持分法適用会社に対する持分相当額	2	3
その他の包括利益合計	△98,223	△933,611
四半期包括利益	549,112	856,153
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	570,543	805,512
非支配株主に係る四半期包括利益	△21,430	50,641

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用

『税効果会計に係る会計基準』の一部改正(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	樹脂化成品	製紙用薬品	電子材料	ローター	計				
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	4,601,881	3,879,082	1,297,059	7,035,048	16,813,072	434,549	17,247,621	14,352	17,261,974
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	59,772	50,252	—	43,621	153,646	34,212	187,858	△187,858	—
計	4,661,654	3,929,334	1,297,059	7,078,670	16,966,719	468,761	17,435,480	△173,506	17,261,974
セグメント利益	153,205	254,290	59,862	470,707	938,066	5,328	943,395	△60,062	883,332

II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	樹脂化成品	製紙用薬品	電子材料	ローター	計				
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	5,111,451	4,541,475	1,375,261	7,968,198	18,996,387	413,503	19,409,890	22,370	19,432,261
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	53,282	28,694	—	39,820	121,797	28,334	150,131	△150,131	—
計	5,164,733	4,570,170	1,375,261	8,008,018	19,118,184	441,838	19,560,022	△127,761	19,432,261
セグメント利益又は損失(△)	218,758	452,436	130,437	286,189	1,087,822	△18,934	1,068,887	△60,352	1,008,535

(注1)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に「不動産管理事業」等を含んでおります。

(注2)セグメント利益又は損失(△)の調整額は、棚卸資産の調整額等が含まれております。

(注3)セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2019年3月期 第1四半期決算短信  
別紙ご参考資料

1. 設備投資額

	2018/3期		2019/3期	
	第1四半期(実績)	通期(実績)	第1四半期(実績)	通期(計画)
連結	3.3億円	18.4億円	4.6億円	23.0億円

2. 減価償却実施額

	2018/3期		2019/3期	
	第1四半期(実績)	通期(実績)	第1四半期(実績)	通期(計画)
連結	4.6億円	19.4億円	4.8億円	20.0億円

3. セグメント別売上高

	2018/3期		2019/3期	
	第1四半期(実績)	通期(実績)	第1四半期(実績)	通期(計画)
樹脂化成品	46.0億円	190.8億円	51.1億円	207.0億円
製紙用薬品	38.7億円	173.3億円	45.4億円	196.0億円
電子材料	12.9億円	56.3億円	13.7億円	62.0億円
ローター	70.3億円	297.0億円	79.6億円	318.0億円
その他	4.3億円	16.0億円	4.1億円	17.0億円
調整額	0.1億円	△0.5億円	0.2億円	-
合計	172.6億円	733.1億円	194.3億円	800.0億円

4. 海外売上高

	2018/3期		2019/3期	
	第1四半期(実績)		第1四半期(実績)	
	金額	比率	金額	比率
南北アメリカ	38.2億円	22.2%	37.0億円	19.1%
欧州	29.2億円	16.9%	41.9億円	21.6%
アジア、オセアニア	29.1億円	16.9%	35.5億円	18.3%
合計	96.6億円	56.0%	114.6億円	59.0%